

# 「平成28年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の推進地域の取組

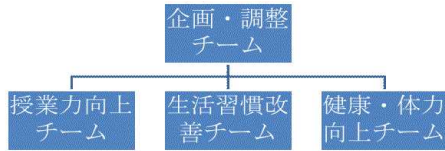
拠点校名	伊達市立月館中学校
推進協力校名	伊達市立月館小学校, 伊達市立小手小学校

## 学校と学校、家庭、地域をつなぐ取組

月館中学校区は月館小学校・小手小学校・月館中学校の3校で構成されており、以前から、「月館の教育を語る会」を実施してきた。幼稚園、小学校、中学校の教職員が園、学校の枠を越えて、それぞれの願いや思いを共有し、ともに英知を出し合い、協働による教育を実践することにより、家庭・地域との連携も図りながら、将来に向かって学ぶ力と豊かな心、たくましい体を持った子どもを育てることをねらいとしている。

### 取組の内容

◎ 「月館の教育を語る会」組織図



平成28年度 伊達市 月館方面『つなぐ教育』学びのプラン

### 学ぶ力が伸びる生活集団・学習集団づくり

『月館の教育を語り合い、バランスのとれた安定した児童・生徒を育てむ』

<b>Ⅰ 生活習慣の確立に向けて</b> ◎ 学校で「生活のまわり」になる意識を高め、生活の中心となる意識を育む。 ◎ 家庭で「生活のまわり」になる意識を高め、生活の中心となる意識を育む。	<b>Ⅱ 授業力アップに向けて</b> ◎ 学校では授業形態の改善を推進する。 ◎ 家庭では「学び」を重視した生活の営みを生み出す。	<b>Ⅲ 健康維持・体力増進に向けて</b> ◎ 学校では健康増進の推進を推進する。 ◎ 家庭では「健康」を重視した生活の営みを生み出す。
--	--	---

授業力向上チーム、生活習慣改善チーム、健康・体力向上チーム

全体を「授業力向上チーム」「生活習慣改善チーム」「健康・体力向上チーム」の3つに分けて、それぞれが共通の課題を持って1年間取り組んでいる。

### 【学校同士の連携】

- ① 月館方面の課題に沿った「**学びのプラン**」の作成
- ② 月館方面の実態に応じた「**学びの手引き**」の作成
- ③ **テレビ会議システム**を活用した交流活動の実施
- ④ 「**月館の教育を語る会**」（幼小中交流授業公開）を通じた学力向上への取組
- ⑤ 授業力向上を図る**小中合同講演会**の実施
- ⑥ 小学校の**合同宿泊学習**を通じた交流
- ⑦ 新入生体験入学での**英語の授業体験**による「中1ギャップ」対策



\* テレビ会議システムで他校の児童と考えを比べたりつないだりする機会を設定した。



\* 小中合同講演会では、実際の理科の授業で、知識構成型ジグソー法の授業体験を行った。



\* 中学校の英語教師とALTによる授業を体験し、不安解消につながった。

### 【学校と家庭の連携】

- ① 実態把握のための**アンケート調査**の実施
- ② ブロック連P合同会議での**学習習慣・生活習慣に関する協議**
- ③ 小中P T A合同音楽会の開催

- ④ ブロック連Pとしての「ノーゲームデー」への取組
- ⑤ ブロック連P球技大会を通じた親睦・交流

**【学校と地域の連携】**

- ① ゲストティーチャーとしての地域人材の活用
- ② 小手姫の里秋祭りへの参加



\*小中PTA合同音楽会では、約300名が、生の歌声やハープ、ピアノ、チェロの演奏を聴いた。

\*ゲストティーチャー①地域の由緒ある建物ができた経緯を学んだ。

\*ゲストティーチャー②あじさい径の散策をしながら森林環境について学んだ。



\*学習の手引き（1年生） \*学習の手引き（5・6年生） \*学習のきまり（小学校）

**成果と課題**

- 幼小中交流授業公開により、お互いの実態に応じた学力向上への取組等について理解を深めることができ、普段の授業でも「つなぎ」を意識した工夫・改善が見られるようになった。また、「学びの手引き」を作成することにより、家庭学習の習慣が身に付き、学校・家庭での学習の意欲が向上している。
- 小中PTA合同音楽会を開催したことによって、教師と保護者、あるいは親と子が感動を共有でき、共通の話題を持つことで、コミュニケーションの活性化にもつながった。
- 地域との連携では、さまざまな分野で協力をいただくことができ、郷土への愛着と誇りをもつ機会にすることができた。また、児童生徒が、小手姫の里秋祭りなど地域の行事に積極的に参加するようになった。
- 小学校と中学校の交流から一歩進んで、共通のテーマを持ち、それについて年間を通して取り組んで検証することで、より効果的な連携を図ることができる。
- 家庭との連携をより強化するために、ブロック連Pの活動を見直し、小中合同でのPTA活動をもっと増やしていく必要がある。
- 地域の人材活用を積極的に推進し、地域に開かれた学校づくりをさらに進めていきたい。

# 学ぶ力が伸びる生活集団・学習集団づくり

学校・家庭・地域の継続した連携・協力を深めて

<県北教育事務所>「つなぐ教育」  
力強く歩む子どもを育てる県北の教育  
<伊達市教育委員会>  
「生きる力」を育む学校教育の充実

月館小学校  
小手小学校  
月館中学校

## 『月館の教育を語り合い、バランスのとれた安定した児童・生徒を育む』

### I よい生活習慣の確立に向けて

- 学校では「生活のきまり」による規則正しいリズム感のある生活
- 家庭ではぬくもりのある空間の実現

- 1 自分と他人のよさを感じ励まし合える子どもの育成
  - ア 縦割り班活動や異学年交流を推進する
  - イ 視野を広げる
- 2 家庭、地域社会へと広がり意識した教育の提供
  - ア 明るいまいさつ・返事を習慣化させる
  - イ きまりや約束はきちんと守らせる

- 生活習慣改善チームの取組
- ・ 生徒指導委員会の運営とまとめ・活用
  - ・ 生活習慣アンケートの作成と実施
  - ・ 家庭への広報
- 学校で
- ・ 道徳の授業の充実・縦割りグループの充実(清掃 登下校 遊び)
  - ・ 学びにつながる望ましい学級集団の醸成
  - ・ 明るいまいさつと品格のある言葉遣い
- 家庭や地域で
- ・ あいさつをする家庭・地域

### II 授業力アップに向けて

- 学校では児童生徒の学ぶ意欲を喚起する授業のたゆみない創造
- 家庭では「知」を意識した時間の生み出しと子どもへの励まし

- 1 「確かな学力」を身につけ、自己有用感を持つ子どもの育成
  - ア 児童生徒の学習意欲を継続させるリズム感のある授業を展開する
  - イ こ・小・中を通じた一貫した家庭学習の充実(手引きの活用)により、継続した学びを実現する
- 2 自ら課題に取組み、目標達成に喜びを実感し、克服する子どもの育成
  - ア 自らの目標設定を推奨し、実現への導きとサポート、指導の足跡を充実させる
  - イ 9年間の学習内容の定着を確認する

- 授業力向上チームの取組
- ・ こ・小・中交流授業公開の企画運営まとめ
  - ・ 学習アンケートの作成
  - ・ ノーゲームデーの普及 読書 親子の絆
  - ・ 家庭学習の啓発 学習手引きの作成 運用
  - ・ 学習訓練の接続 ノート 辞書 授業
  - ・ 各種テストのデータ分析の検討
- 学校で
- ・ こどもの疑問、課題を踏まえた授業の実践
  - ・ 学びの連続性を踏まえた段階的な指導
- 家庭や地域で
- ・ 子どもとともに学ぶ姿勢、家読

<保護者の願い>○子どもが毎日楽しく前向きに学校生活を送る ○家庭学習の充実 ○子どもの日々の成長 ○安心と安全

### III 健康維持・体力増進に向けて

- 学校では児童生徒の将来を見据えた健康教育と達成感のある運動の実施
- 家庭では質のよい食・睡眠の保障

- 1 体力づくりに主体的に取り組む子どもの育成
  - ア 体育の時間でのラジオ体操・運動身体づくりプログラム実施の徹底を図り、生涯を通じて運動する子どもを育成する
  - イ 外遊びの奨励や日常的に体を動かすことのよさを実感させる
- 2 規則正しい生活サイクルの実現と、安全な生活ができる子どもの育成
  - ア 自ら体を動かし、少々の負荷にも耐える体力を身につけさせる
  - イ 危険を回避したり、潜在的危険を予知する能力を身につけさせる

- 健康体力向上チームの取組
- ・ 地域保健委員会の運営とまとめ
  - ・ 食育の指導 内容の充実
  - ・ 9年間とぎれのない発達段階に応じた指導
- 学校で
- ・ 運動身体づくりプログラムとラジオ体操の実施
  - ・ 体育学習の中で持久力と跳力の強化の挿入
  - ・ 外遊びの推進(バランスの取れた運動)
  - ・ 安全な生活と健全な食生活の意識
- 家庭や地域で
- ・ 地域の人材を活用してよりよい食を考える

<教師の願い>○お互いを認め合うやさしい子ども ○課題を意識した授業の実践により日々成長する子ども ○自己表現ができる子ども

<児童の願い>○勉強がわかりたい、できたい ○友達や先生といることが楽しい毎日がいい ○力一杯活動したい

# かていがくしゅうの てびき (1ねんせい)

がくしゅうじかんの めやす



## 30ぷんいじょう

### 3つの やくそく

- かえったら すぐに はじめる。
- テレビをけて がくしゅうする。
- つくえの うえを きれいにしてから はじめる。



がまん!

### ★こんなことにも とりくんでみよう★

じしゅがくしゅう ヒントメニュー

ひらがな、カタカナ、かんじれんしゅう

けいさんれんしゅう

どくしょ おんどく あんしょう

ことばあつめ につき えにつき

せんりゅうづくり いえのしごと

なわとび マラソン など

じぶんで かんがえて とりくむのも いいね。

### おわったあとは○○○

- おうちのかたに たしかめてもらいましょう。
- みのまわりの かたづけや あしたのよういを しましょう。
- じかんわりや もちものなどを かくにんしましょう。

## かてい学しゅうの てびき (2年生)

がくしゅうじかんの めやす



# 40ぶん いじょう

### 3つの やくそく

- かえったら すぐに はじめる。
- テレビをけて 学しゅうする。
- つくえの 上を きれいにしてから はじめる。



がまん!

### ★こんなことにも とりくんでみよう★

じしゅがくしゅう ヒントメニュー

かん字れんしゅう ししや ことわざしらべ

けいさんれんしゅう もんだい文作り

どくしよ 音どく あんしょう

につき おはなしづくり かんさつ

おりがみ はりえ いえのまわりのきせつみつけ

せんりゅうづくり いえのしごと なわとび など

じぶんで かんがえて とりくむのも いいね。

### おわったあとは○○○

- おうちのかたに たしかめてもらいましょう。
- みのまわりの かたづけや あしたのよういを しましょう。
- じかんわりや もちものなどを かくにんしましょう。

平成28年度 伊達市立月舘小学校・小手小学校  
家庭学習のてびき（3・4年生）

### 学習時間のめやす

3年生50分・4年生60分以上

### 3つのやくそく

- 家に帰ったらすぐに始める。
- テレビを消して、学習する。
- つくえの上を、きれいにしてから始める。

### 学習すること

- 宿題をしっかりとやりましょう。
- 宿題が終わったら自主学習をやりましょう。

### 自主学習メニュー

#### 国語

- 漢字練習 かんじれんしゅう ○ 意味調べ ○ 読書 ○ 視写 ししや
- 日記や作文 ○ ローマ字練習 ○ 俳句・川柳 はいくせんりゅう
- ことわざ調べ ○ 慣用句調べ かんようく ○ 読書感想文

#### 算数

- 計算ドリル ○ 教科書の問題の復習 ふくしゅう
- 問題作り ○ テストでまちがえた問題をもう一度やる

#### その他

- 都道府県と県庁所在地 とどうふけんけんちようしよざいち ○ 世界の国と首都 しゆと
- 国旗調べ ○ なんでもランキング
- 生き物・動物調べ せいきぶつどうぶつ ○ 星空・星座観察 せいざかんさつ
- 楽器練習 がっきれんしゅう

### 家庭学習がおわったら

- あとかたづけをきちんとしましょう。
- あしたの時間わりやれんらくちょうをたしかめて、ひつようなものを用意しましょう。

平成28年度 伊達市立月舘小学校・小手小学校  
家庭学習のてびき（5・6年生）

## 学習時間のめやす

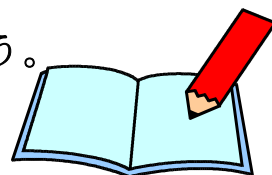
5年生70分・6年生80分以上

## 3つの約束

- 家に帰ったらすぐに始める。
- テレビを消して、学習する。
- 机の上を、きれいにしてから始める。

## 学習すること

- 宿題をしっかりとやりましょう。
- 宿題が終わったら自主学習をやりましょう。



## 自主学習メニュー

### 国語

- 漢字練習
- 意味調べ
- 読書
- 視写
- 日記や作文
- ローマ字練習
- 俳句・川柳
- ことわざ調べ
- 四字熟語調べ
- 読書感想文

### 算数

- 算数ドリル・計算ドリル
- 教科書の問題の復習
- 問題作り
- 見取り図・展開図をかく
- テストで間違えた問題をもう一度解く

### その他

- 都道府県と県庁所在地
- 世界の国と首都
- 国旗調べ
- 歴史上の人物調べ
- 生き物・動物調べ
- 星空・星座観察
- 家庭科で学習したことを家でやってみる

## 家庭学習が終わったら

- 片付けをきちんとしましょう。
- 明日の時間割や連絡帳、メモを確かめて、必要な物を用意しましょう。

# 学習の手引



## 月舘中学校

年 組 番 氏名



# 学習の目標と心構え

## 1 学習の目標を確かめよう

中学校の学習は、いろいろな教科や道徳の学習をはじめ、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動などさまざまなものがあります。学習にあたっては、つねに「何のために学習するのか」を考え、目標を持って学習に取り組むことが大切です。

### 学習のおもな目標

- (1) いろいろなことがらについて正しい判断ができるようになること。
- (2) 社会の一員として、必要なことを身につけること。
- (3) 働くことの大切さを理解し、自分にふさわしい進路を選ぶことができるようになること。

## 2 学習への心がまえ

学習は授業の話聞き取り、疑問に思ったことを理解することが大切です。その解決のために友達に聞いたり、先生に質問したり、自分で調べて解決していきます。

### 学習三戒

- 忘れ物をしない
- 姿勢を良くする
- あいさつ・返事をきちんとする

### (1) 学校での学習

- ① 大切なのは授業です。受け身ではなく、自分で進んで学ぶ気持ちをもって臨もう。
- ② わからないことは積極的に質問したり、友人どうし協力して教え合おう。
- ③ どの教科も集中して学習し、苦手な教科をつくらないようにしよう。
- ④ ノートは、あとの学習に役立つように工夫して整理しよう。

### (2) 家庭での学習

- ① 決まった時間に机に向かうなど、自学する習慣をつけよう。
- ② 目標を決め、計画を立てて学習しよう。
- ③ 計画の実行によって、自分をきたえようとする強い気持ちを持とう。
- ④ 毎日欠かさずに予習・復習をしよう。
- ⑤ 図書室を利用し、読書をしよう。

### ○ 予習(次に学習することを前もって調べ、疑問点をつかんでおく)

ア 教科書を読み、次の日の授業の内容と重点をまとめる。

イ 大切だと思うこと、わからないことは、教科書に線を引いたり、ノートに書いておく。

### ○ 復習(学習したことをまとめ覚える)

ア 教科書やノートを読み、授業で学習したことをまとめたり、何回も書いて覚えるようにする。

イ どうしてもわからないところは、次の日に先生に質問したり、友人に聞いたりして、必ず覚えるようにする。

# みんなで努力しよう

1のつく日は、ノーゲームデー。ノーゲームデーは、読書の日。

## 1 忘れ物をしない

- (1) 帰りの学活で教科係や先生からの連絡を「生活の歩み」にメモをする。
- (2) 前日の時間割を確かめ、学習用具をそろえる。

## 2 チャイム着席

- (1) チャイム1分前になったらに着席し、授業のできる準備をして静かに先生を待つ。
- (2) 特別教室への移動は、授業終了後すぐに行く。
- (3) 休憩時間には次の授業の準備をし、教科書など必要な学用品は机の上に出しておく。
- (4) 授業の始めと終わりのあいさつは、学級委員や当番の指示で一斉に行く。

## 3 真剣に集中して

- (1) その時間に何を学習するのか確認する。
- (2) その学習で何が重要なのかしっかりつかむ。
- (3) 説明を聞くときには話す人の方を見て真剣に聞く。
- (4) 黒板に書いてある内容や先生が話をする内容は、分かりやすく、工夫しながらノートに書く。

## 4 返事は大きな声で

- (1) 手を挙げるときはまっすぐに挙げる。
- (2) 指名されたら大きな声で返事をし、きちんと立つ。
- (3) みんなに聞こえるように大きな声で話す。
- (4) 語尾まではっきり話す。
- (5) 順序良く話す。(～です。その理由は～です。等)

## 5 姿勢は正しく

- (1) 立って読むときは、両手で本を持つ。
- (2) ノートに書くときはイスを引き、背筋を伸ばす。
- (3) 発表や説明を聞くときは終わりまでしっかり聞く。
- (4) ひやかしたり、笑ったりしないで相手の言おうとする事は何かをよく考えて聞く。

## 6 学習活動は全員で参加

- (1) 先生が指名したら、すぐに返答する。考えがまとまらない場合は、「今、考え中です。」や「よく分かりません。」と黙っていないで答える。
- (2) 話し合いは全員で深めていく。
  - (説明) ～について説明します。
  - (考え) ～について私の考えを言います。
  - (意見) ～についてわたしの意見を述べます。
  - (賛成) ～の意見に賛成です。その理由は～です。
  - (補足) ～さんの言ったことに付け加えます。
  - (称賛) ～さんの考えで良いと思います。
  - (助言) ～さんに聞きたいのですが、～についてはどう思いますか。
  - (考えがまとまっていない時)
    - ～よく分かりませんが、～ではないでしょうか。

# ～家庭学習の仕方～

## 国語科

### 1. 予習の進め方

- (1) 教科書の本文を音読する。  
音読しながら、読めない漢字や意味の分からない「語句」にサイドラインを引く。
- (2) 意味の分からない「語句」の意味を辞書で調べる。  
特に、教科書の下に出ている意の部分には必ず調べる。  
使いやすい辞書を家庭にも準備。
- (3) 内容について、疑問に思ったことがあればメモしておく。



文学的文章は自分の感想をもって授業に臨むことが大切です。

### 2. 復習の進め方

- (1) 漢字は繰り返しが大切である。  
教科書に出てきた語句の形はもちろん、音読み・訓読みも合わせて調べ、教科書の用例以外の使い方もノートに記入する。
- (2) その日の授業を思い出し、ポイントをノートに整理する。  
ノートを見て写すのではなく、教科書だけ見る。  
そして、授業内容を思い出し、自分の力でノートをつくり行う。
- (3) 音読を重視する。  
古典や詩、短歌、俳句は特に暗記するまで読み、古文や韻文特有のリズムを味わう。
- (4) ワークブックを活用する。  
授業で進んだところまでは自主的に進める。  
自分で考え、答えを書いてから模範解答と比較する。  
記述式のタイプは「だいたい同じ」で○をつけず、どこが違っているかを比較する。  
文字を丁寧に書くことがポイントである。

漢字は、授業で学んだ後に普段の日常生活で使うことが大切。毎日の「生活のあゆみ」なども漢字で。



記述式をめんどくさがって諦めてしまうと力は伸びません。間違ってもいいので頑張って自分の考えを書きましょう。まずは書くこと、そして間違えることも大切です。

### 3. 国語の力を高めるために

- (1) 読書の習慣を身につけよう。  
優れた小説は、主人公の心情に寄り添ったり、情景が頭の中に浮かんだりします。想像力を豊かにし、言葉への感覚も磨かれます。ゲームやテレビの時間を減らし、ぜひ良書に親しむ時間を増やしてください。
- (2) 新聞を読もう。  
皆さんが苦手な説明文の読解力を高めるためにも新聞の記事は役に立ちます。今話題になっている最新の話題に触れることにより「ものの見方・考え方」の幅も広がります。毎日、短い時間でも新聞に目を通してください。

# 社会科

## 1. 予習の進め方

- (1) 教科書を読んで重要だと思うところに線を引く。
  - ・教科書を何度も読んで書かれている内容を理解する。特に重要語句（太い文字）は、ノートに書き出し説明文を加える。
- (2) 教科書の線を引いたところを中心にノートの予習ページにまとめる。
  - ・地理は、地図を描いてその中に書き込むことでわかりやすくなる。地図帳を必ず側において学習する習慣をつけるようにする。
  - ・歴史は、出来事の「原因・経過・結果」を意識し、常にいつの時代の出来事か、教科書の後ろに付いている年表で確認する。
- (3) 予習によって、わかったこと、まだ疑問に思うことを書き出す。
  - ・「なぜ」「どうして」と感じる事が大切であるので、少しの疑問でもノートに書き出す。



予習をしてのぞむことで、授業での内容がわかりやすく、さらに楽しくワクワクします。

## 2. 復習の進め方

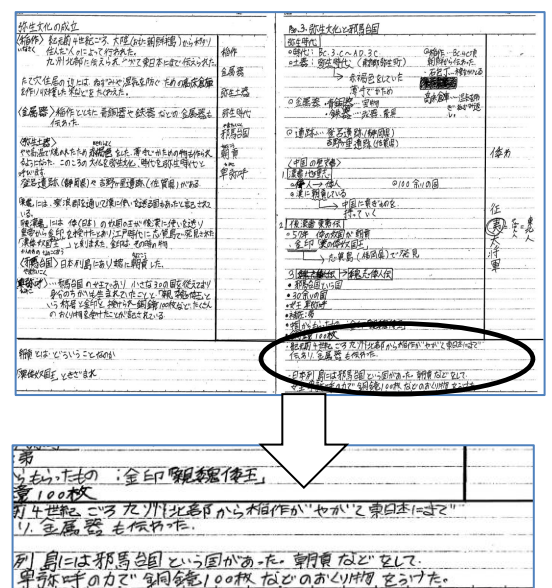
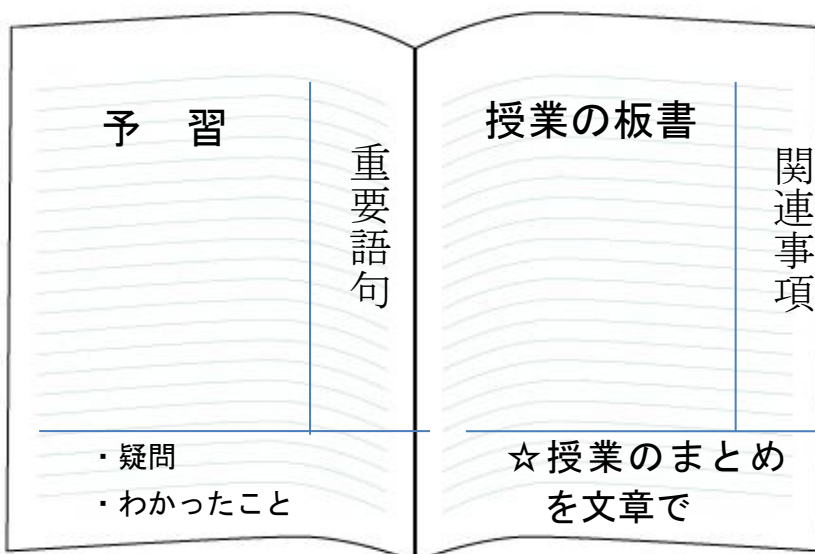
- (1) 授業の学習内容（重要なところ）を思い出し、学んだ内容を文章でノートの下欄に書く。
  - ※授業で強調したところ、教科書の重要語句を中心に文章をまとめると書きやすい。
  - ※もし、文章でまとめることが出来ない時は、授業内容の理解が不十分であることが考えられる。教科書をもう一度読み、授業中に線を引いたところを書きうつすだけでも良い。
- (2) 年表を作ってみる。
  - ※歴史の教科書は、年号順に書いてあるわけではないので、確認する意味でも、手作り年表を書いてみると出来事を整理しやすい。（世界の出来事とも対応することが容易である）
- (3) 新聞、ニュースを見る（聞く）習慣をつける。

友達同士で、地図帳の中の場所探し競争や、教科書を使って問題の出し合いなど、休み時間を使ってやってみよう！



社会科は、重要語句を覚えることが大切です。繰り返し書いて覚えましょう。また、社会の出来事にも興味・関心を持ちましょう。

### ノートの取り方



# 数学科

## 1. 予習の進め方

- (1) 教科書を読む。  
教科書を読み、ポイントをつかむ。重要語句（太字の言葉）をチェックする。
- (2) 教科書の例題を解く。  
教科書の例題を解いてみて「なぜか」「どうしてか」の疑問点を持つ。



自分の分からないところを明確にして授業にのぞむことが大切です。

## 2. 授業での学び方

- (1) 例題・問題を自ら考える。  
予習での疑問点や、問題の解き方に対して自分の考えを持つ。
- (2) しっかり話を聞く。  
授業で先生の話や友達の説明などを聞き、自分の考え方と比べる。
- (3) 練習問題を解く。  
多様な考えの中から、よりよい方法を選び、その方法で練習問題を自力解決する。



自分で考える、自分で解くことを大切にする。(すぐあきらめない)

## 3. 復習の進め方

ー必ず授業のあったその日のうちに行うー

- (1) 授業のノートや教科書を読み返し、ポイントを覚える。
- (2) ノートに解いてある問題や類題を解く。
  - ①例題やノートに解き方が書いてあるので、その問題を解く。
  - ②間違いに対し、どこで間違えたのか調べる。  
(どこで間違えたか見つからない場合は次の日に質問する)
  - ③教科書の類題を解く。
  - ④問題集の問題を解く。

できなかった例題や問題に印を付けておくことが大切です。テスト前はそこを重点的に学習しましょう。

ー基本の問題や章の問題等まとめが終わった後ー

- (1) 間違った問題の例題に戻り、解き方の確認をする。
- (2) 教科書や問題集の問題で間違えた問題を中心にやり直す。

ーテストが終わった後ー

- (1) 必ず間違えた問題を解き直す。
  - ①間違いに対し、どこで間違えたのか調べる。  
(どこで間違えたか見つからない場合は次の日に質問する)
  - ②どこで間違えたかに気づいた場合は、どうすれば次に間違えないか対処法を考える。



復習への取り組みが一番大事です。

# 理科

## 1. 予習の進め方

(1) 実験がない場合の予習

①教科書を読み、ポイントをつかむ。重要語句（太字の言葉）をチェックする。

(2) 実験の場合の予習

準備・方法（やり方とイラスト）をノートに写し、注意事項などを確認しておく。



自分の分からないところを明確にして授業にのぞむことが大切です。

## 2. 授業での学び方

(1) しっかり話を聞く。

授業で先生の話や友達の説明などを聞き、自分の考え方と比べる。

(2) 『なぜ?』という気持ち大切です。なぜ、そのようになるのか、自ら考える。



『なぜ』そのようになるのか、まずは、自分で考える。

## 3. 復習の進め方

(1) まずは、重要語句をおさえる。

(2) 法則や公式、単位をおさえる。

(3) グラフの書き方、計算を反復練習する。

(4) ワークブックに取り組み、出題される傾向をつかむ。



理科を学習する上で一番大切なのは、『なぜ、〇〇は〇〇なんだろう?』と自分で疑問を持ち、自分でその疑問を考えてみることです。

どんなに小さなことでも、発見・解明することを楽しみましょう。

# 英語科

## 1. 予習の進め方

- (1) 教科書の「語句」を書く。  
教科書の横や下に出ている「語句」をノートに写し、意味を調べて記入する。
- (2) 教科書の基本本文を書く。  
教科書の下に出ている「基本本文」をノートに写し、教科書の横に書かれている説明を参考に日本語に訳す。
- (3) 教科書の本文を書く。  
教科書の本文をノートに写し、意味が分からない部分にアンダーラインを引く。  
できるだけ自分で意味を調べ、日本語に訳す。



自分の分からないところを明確にして授業にのぞむことが大切です。

## 2. 復習の進め方

- (1) 教科書の本文をなめらかに読めるようになるまで読む。(暗記が目標です)  
※1ページ20回を目標に音読する。5回読んだら教科書に☆マークを記入する。
- (2) 単語の練習をする。
  - ①単語から意味を書く。
  - ②意味から英語を書く。書けなかった単語を10回練習する。
- (3) 教科書の本文を日本文に直す。(授業があった日に必ず行う)
- (4) 本文の練習をする。
  - ①日本文を隠し、英文を読んで意味を確認する。
  - ②日本文から英文を書く。書けなかった英文は何度も練習する。

できなかった単語や英文に印を付けておくことが大切です。テスト前はそこを重点的に学習しましょう。



英語の学習は10分でもいいので、毎日継続して取り組むことが大切です。

### ノートの例

曜日 月日	
本 文	新出語句
授業ノート	

語句の意味	本文意味
授業ノート	